本ばこ ―新刊教材・図書紹介―

中級前期総合日本語教材『みんなの日本語中級Ⅰ』の教師用指導書
『みんなの日本語中級Ⅰ　教え方の手引き』

編著：スリーエーネットワーク　　出版社：スリーエーネットワーク
URL：http://www.3anet.co.jp　　発行年月：2010年6月
ISBN：978-4-88319-491-9　　判型・頁数：B5判、245頁

日本でも海外でも広く使われている初級日本語教科書『みんなの日本語初級』に続く中級への橋渡しとなる総合教科書『みんなの日本語中級Ⅰ』の教師用指導書です。『初級』は、ⅠとⅡの本冊に各国語版の翻訳・文法解説書や教え方の手引き、副教材など付属教材が充実していますが、『中級』は、現在のところ、Ⅰの本冊、CD、翻訳・文法解説書（英語版／中国語版／韓国語版／ドイツ語版）と今回紹介する『教え方の手引き』が発行されています。

▽中級を教えた経験の少ない教師への配慮

この手引きは、３部構成になっています。第Ⅰ部では、『中級Ⅰ』の全体の編集方針、構成、内容と使い方について書かれています。『初級』と同じ点、違う点もわかります。

第Ⅱ部では、各課の具体的な教え方が書かれています。授業の準備に役立つのがこの部分です。各課の目標、学習項目と授業の流れに沿った細かい手順や留意点が書かれています。『初級』の手引きのように導入のし方や各パターン練習のやり方の例はありませんが、ロールプレイの評価のポイントや、読解、作文と発表の指導の手順などが具体的に示されているので、このような授業活動の経験のあまりない教師にとって参考になります。

第１課

Ⅰ．目標
話す・聞く　・頼みにくいことを丁寧に頼む　・感謝の気持ちを表す
読む・書く　・ものの歴史と良さについてどこに書いてあるか探しながら読む

Ⅱ．学習項目

	話す・聞く 「お願いがあるんですが」	読む・書く 「我」
本文内容	・レポートを書くために、知り合いに家の中を見せてほしい と頼む。	・日本の住まいのユニークな床材である畳の歴史と今の良さ。
文法項目	1．～でもらえませんか ～ていただけませんか ～でもらえないでしょうか ～ていただけないでしょうか	2．～のようで／～のような・～のように…（比喩・例示） 3．～ことは／が／を 4．～を～と言う 5．～という～ 6．いつ／どこ／何／だれ／どんなに～でも
＊補足項目	＊～じゃなくて、～	＊～のだ・～のではない ＊何人も、何回も、何枚も…
新出語＊固有名詞	文法・練習　どのように　通う［通に～］　先輩 ＊村上春樹　『ノルウェイの森』　夏目漱石　宮崎駿　トンガ王国　パオイアプ　マダガスカル 話す・聞く　それで　お礼　ポイント　四苦　関節取る　表現　通う［A か B か～］　部分　市民　会館　市民会館　伝統的［な］　実際に　そういう　ふだん　何とか　イントネーション　受学金　無義状　交流　司会　目上　聞る　引き受ける	文法・練習　まるで　明るい［性格が～］　父親　頭　目指す　命　おさち料理　初節で　畳　亜布団　床　正座　おじぎ　作家　～中［留学～］　いっぱい　どんなに　立派［な］　欠点　～過ぎ　似合う 読む・書く　印象　チェックする　［お］住まい　たたむ　重ねる　板張り　素足　使い分ける　良さ　踏み込む　旅行者　～者　扇も　非常に　それほど　代表する　全体　敷く　ちょうど　何枚も　つける［名前を～］　やさとことば　動かす　組み合わせる　客間　居間　住事部屋　ワラ　イグサ　呼吸する　湿気　現在［誌発を～］　快適［な］　清潔［な］　本文　一戸建て　小学生　日常生活　＊タタミゼ
会話表現	・あのう、～ていただけないでしょうか。 ・何とかお願いできないでしょうか。 ・うちでよければぜひどうぞ。 ・お役に立ててよかったです。 ・お預かりします。	
学習漢字		部 提 侵 床 材 非 常 珍 化 表 青 金 板 張 客 観 座 布 団 校 由 具 組 固 約 乾 呼 吸 屋 取 役 絶 柔 快 適 清 興 敷 銀 薬 潔

28

p.28

▽『初級』を振り返りながら中級を教える

中級を初級と同じシリーズで学ぶメリットはいろいろあります。『中級Ⅰ』は、『初級』と登場人物も同じで、練習のパターンもよく似ているので、初級を復習しながら同じやり方で続けて勉強したい学習者には使いやすい教科書だと言えるでしょう。『初級』で練習のやり方に慣れている学習者なら、本冊と翻訳・文法解説書を自習用として使うこともできるでしょう。

また、各課の文法説明の下に「参照」として『初級』で勉強した関連文法があがっており、動詞のフォーム一覧には、新しく提出された活用形と接続文型だけでなく、『初級』で導入した活用形と接続文型もすべてあがっています。これは、教師にとって、これまで学習者が何を学習し何を学習していないか、新しい学習項目と関連する文型は何課でどのような例文で学習したかが一目でわかり便利です。授業の準備にも試験を作るときにも利用できるでしょう。

文法説明には、「参考」として、同じスリーエーネットワークの参考書『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』から説明が引用されているところもあり、すべてを入手できない環境で教えている教師にとって有益な情報となるでしょう。

このコーナーの担当者：小松知子／日本語国際センター客員講師

©The Japan Foundation